

文学特別展

開館15周年記念 寂聴と徳島
2017年4月8日(土)～5月28日(日)

●特別展示室・ギャラリー・収蔵展示室

瀬戸内寂聴(1922年-)のふるさと徳島を描いた小説や随筆を紹介し、著書や写真とともに展示します。また、寂聴の出家の瞬間を撮影した勝山泰佑の写真展「寂聴さんと あのとき あのひと」も開催します。

●勝山泰佑 ギャラリートーク *観覧券必要

①「私の写真家人生と瀬戸内寂聴」4月8日(土) 14:00～15:00

②「作品を中心に」5月14日(日) 14:00～15:00

●展示解説+「望郷 リスボン」鑑賞 *観覧券必要

「望郷 リスボン」は、寂聴がポルトガルでモラエスの足跡をたどった1993年、四国放送制作の番組。

4月29日(土) 13:30～15:00

●テーマ朗読会「寂聴が描いた徳島」

5月13日(土) 14:00～15:00

●展示解説+文学まち歩き「寂聴ゆかりの場所を巡る」-NPO法人徳島ツーリズム協会 共同企画-

A:4月22日(土) B:5月18日(木) 9:15～12:15 *申込必要

(申込締切 A:4月15日 B:5月10日 抽選で決定)、観覧券・ひょうたん島クルーズ代必要

●展示解説+寂聴原作人形浄瑠璃「モラエス恋道路」鑑賞 -阿波十郎兵衛屋敷 共同企画-

C:5月20日(土) 13:30～16:00 *申込必要

(申込締切 C:5月13日 抽選で決定)、観覧券・じょうりクルーズ代・阿波十郎兵衛屋敷入館料必要

上記の展示解説の講師は竹内紀子(当館専門調査員)



寂聴と文楽人形

吉村萬巻——意味のない美しい夢
2017年8月11日(金・祝)～9月24日(日)

●特別展示室・ギャラリー・収蔵展示室

父親が小松島市出身の作家・吉村萬巻(1961年-)は、2001年に「クチュクチュバーン」で文学界新人賞を受賞し、03年に「ハリガネムシ」で芥川賞を受賞。14年に発表した「ボラード病」は大きな反響を呼びました。昨年は漫画『流しの下のうーちゃん』を刊行した吉村の絵や造形物などを展示し、小説の形になる前の「もの」を楽しんでいただきます。

●講演会 *申込必要

8月11日(金・祝) 14:00～15:30 講師/吉村萬巻(作家)

9月2日(土) 14:00～15:30 講師/若松英輔(批評家)

●テーマ朗読会「吉村萬巻著『生きていくうえで、かけがえのないこと』を読む」

8月26日(土) 14:00～15:00



吉村萬巻

高村薫の見た空海
2017年12月16日(土)～2018年2月8日(木)

●特別展示室・ギャラリー・収蔵展示室

今なお多くの人々の心の拠り所になっている弘法大師・空海。阪神淡路大震災に自宅で遭遇し、仏を想うようになった作家の高村薫(1953年-)は2013年から約2年がかりで日本各地を訪ね、21世紀の空海像を探りました。その思索ドキュメント『空海』(新潮社)をもとに、高村薫の捉えた空海を紹介します。

●講演会「21世紀の空海」 *申込必要

12月17日(日) 14:00～15:30 講師/高村薫(作家)

●テーマ朗読会「高村薫『空海』を読む」

1月13日(土) 14:00～15:00



高村薫(共同通信社提供)

文学企画展

歌人・今井邦子 ～ひたむきに生きた生涯～
2017年6月1日(木)～7月30日(日)

●文学常設展示室

徳島市に生まれ、大正から昭和の時代を歌人として生きた今井邦子(1890-1948年)。少女時代から文学の才能を開花させ、後に女流歌誌「明日香」を創刊するなど、生涯、文学への情熱を燃やし続けました。折々の歌を交えながら、邦子の歩みを紹介します。

仏文学者・佐藤輝夫の軌跡
2017年11月10日(金)～2018年1月20日(土)

●文学常設展示室

詩人ヴィオンやトリスタン・イズー伝説などフランス中世文学の魅力に深く迫り、日本の外国文学研究を世界水準にまで高めた徳島市出身の佐藤輝夫(1899-1994年)。徳島にまつわるエッセイや文学者たちへの影響なども紹介しながら、その生涯と業績をたどります。

書道特別展

開館15周年記念 小坂奇石の「かすれ」
2017年6月22日(木)～8月6日(日)

●特別展示室・書道美術常設展示室

書の本質は線にあるとした書家・小坂奇石(1901-91年)。生気に満ちた線には、さまざまな渴筆(かすれた線)が効果的に表現されています。その「かすれ」にスポットを当てて奇石書の魅力に迫ります。

●展示解説 *観覧券必要

7月9日(日) 14:00～14:30 講師/能仁華瑤(徳島県美術家協会書道部理事)

7月29日(土) 11:00～11:30 講師/大林佳代(当館事業課主事)

●作品解説 *申込必要

7月23日(日) 13:30～15:00

講師/江口大象(璞社会長)、川村龍洲(璞社顧問)、川崎大開(璞社総務)

榊莫山——その慈愛に満ちたまなざし
2017年10月1日(日)～11月12日(日)

●特別展示室・書道美術常設展示室

榊莫山(1926-2010年)は書家として知られていますが、書の枠を越えて詩や絵など異分野の世界にも大きく踏み出しました。そしてそれらの作品はどれも莫山ならではの優しさと詩情にあふれています。本展では豊かな才能を存分に発揮し、人々を魅了してやまない文人・榊莫山を紹介します。

●トーク「父の思い出」 *申込必要

10月15日(日) 13:00～13:50 講師/榊せい子(榊莫山長女)

●作品解説 *申込必要

10月15日(日) 14:00～14:50 講師/隅田英二(当館専門職員)

●展示解説 *観覧券必要

10月29日(日)・11月8日(水) 11:00～11:30 講師/隅田英二(当館専門職員)

巨匠 深山龍洞の仮名
2018年2月14日(水)～3月25日(日)

●特別展示室・書道美術常設展示室

書家・深山龍洞(1903-80年)は、漢字や仮名の古典を涉猟し、生涯を通じて「書とは何か」を追い求めました。その作品は驚くほど多彩で格調の高さを誇っています。本展では巨匠・深山龍洞の書の世界を紹介します。

●講演会・作品解説 *申込必要

3月4日(日) 13:00～15:00 講師/井茂圭洞(日本芸術院会員)

3月11日(日) 10:00～12:00 講師/横山煌平(日展会員)



小坂奇石「露然」



榊莫山



深山龍洞「清水比庵のうた」

書道企画展

墨ってなあに?
2017年6月22日(木)～8月6日(日)

●ギャラリー(観覧無料)

子どもから大人まで楽しく墨について学べる企画展です。墨の製造会社(株)墨運堂の協力により、墨の原料や関連資料を展示し、墨の製造方法などを分かりやすく解説します。

第2回 書道創作グランプリ

徳島県内の学校に在籍する小学4年生から高校生までの書道創作コンクールです。予選通過者を対象に本選を実施します。本選は、当日に発表された課題を当館において手本なしで仕上げます。

●予選(作品募集) 8月16日(水)～9月9日(土)必着

●本選(席上揮毫) 11月4日(土) 小学4～6年生・中学生

11月5日(日) 高校生

●展覧会 12月2日(土)～13日(水) ●ギャラリー(観覧無料)

●表彰式 12月10日(日)

夏の書道収蔵品展 中林梧竹の行草書 I

秋・冬の書道収蔵品展 中林梧竹の行草書 II

I:2017年8月8日(火)～9月28日(木)

II:2017年11月14日(火)～2018年2月11日(日)

●書道美術常設展示室

中林梧竹(1827-1913年)が最も得意とした行草書を2期に分けて展示します。心癒やす作品をご堪能ください。

「今年の一文字」展 2017
2017年12月13日(水)～27日(水)

●ロビー

あなたが思う「今年を象徴する漢字一字」を募集します。

応募のあった全作品を展示します。

●作品募集 11月4日(土)～30日(木)